

奈良市立東登美ヶ丘小学校 4年生

126名の児童がアイデアを練った奈良墨「銀河」

児童が企画・運営する「奈良墨わいわいフェスタ！」にて初披露



2023年3月4日(土)、平城宮跡歴史公園で開催される「奈良墨わいわいフェスタ！」にて、奈良市立東登美ヶ丘小学校4年生児童の全126名が28チームに分かれてアイデアを出し生まれた奈良墨「銀河」が初披露されることとなりましたのでご案内いたします。錦光園は、講義、墨づくりなど、児童のアイデア実現に全面協力させていただいています。

奈良市立東登美ヶ丘小学校は、2023年に創業50周年を迎えるにあたり、2022年9月、「奈良県の伝統工芸品を未来へつなげよう～奈良墨×東とみプロジェクト～」をスタートしました。本プロジェクトは、一人一人が学びを確かめ、思いや考えをつなぐ授業づくりをおこなっている東登美ヶ丘小学校が、伝統工芸に携わる職人の思いや技術に触れてその魅力を深く学ぶ機会と共に、伝統工芸が直面している課題を解決するアイデアを考え、実行する機会を提供するという試みです。児童たちは、伝統工芸を取り巻く環境を調べるところから始まり、未来を考える⇒広める方法を考える⇒広める活動という4フェーズを通して、アイデアをまとめていきました。「最初は墨の良さを知らなかったけど、水墨画などを通して墨のことが好きになりました。」「最初は、自分で何をすればいいかわからなかったけれど、だんだんと自分が役に立てる感じがして、うれしく思いました。」など、プレゼンや地域社会の中での様々な行動を通し、児童は意識を変え、可能性が広がることを実体験しています。4年生児童の全126名がクラスの垣根を超えて28チームに分かれ様々なプレゼンを行いました。その結果①新商品開発、②平城宮跡での一般向けワークショップ、③外部に向けて墨の情報をまとめたチラシ作り、④この活動を次の世代3年生に繋げるための3年生に対する墨に関する校内イベントの企画が選ばれ、これらの集大成が平城宮跡歴史公園にて開催される「奈良墨わいわいフェスタ！」です。墨は商品化までに半年以上を要するため、商品の販売は9月を予定していますが、会場にて初披露&先行予約販売も行われます。

(近鉄百貨店での販売も決まっています。)

「奈良墨わいわいフェスタ！」の企画立案、さらにはイベントへの集客など全て奈良市立東登美ヶ丘小学校4年生児童

錦光園

が主体となって行われています。添付のパンフレットも児童によって準備されたものです。

■奈良墨わいわいフェスタ！

とき：2023年3月4日（土）9:30~17:00

ところ：平城宮跡歴史公園 朱雀門ひろば天平うまし館

主催：奈良市立東登美ヶ丘小学校

共催：平城京 再生プロジェクト

後援：錦光園、池田含香堂

詳細は下記へ。

<https://www.suzakumon-heijokyo.com/event/16298/>



ポイント1) 開催会場は平城宮跡!!

「奈良で人が集まる場所」でイベントを開催したいという児童たちの希望が叶いました。

ポイント2) イベントの運営、司会進行は、児童が担当します。

ポイント3) このイベントを企画するに至る前に、32 時間もの授業を通して奈良墨や奈良の工芸品について勉強しています。皆さんからの質問にもお答えします。（まだ勉強中ですので、お手柔らかにお願いします😊）

ポイント4) イベントでは奈良墨で文字や絵を描き世界に一つだけのあなただけのうちわが作れます。

ポイント5) 会場の特設ブースにて、全 28 チームが展開したプレゼンを勝ち抜いたアイデア「銀河」がお披露目されます。錦光園七代目墨匠 長野睦が制作工程などもご説明します。

ポイント6) 4年生児童で構成される広報部制作の奈良墨パンフレットも初披露されます。



児童たち一人ひとりが真剣に奈良墨の将来を考え、実行に移してくれている様子に、胸一杯に込み上げてくるものを感じます。一人でも多くの方に見ていただけることを願っています。

以上

■油煙墨「銀河」について

全 28 チームのプレゼンを勝ち抜いたアイデアから生まれた油煙墨「銀河」。

ラメが入った墨です。新商品の開発を考えた際、職人の感覚ではまず、その外観・形から考えてしまいましたが、児童たちからの提案は、磨った際の墨液の黒色の中に星が見え、宇宙を表すというもの。壮大なスケールと墨液での表現を主としたユニークな商品です。児童から提案があった「銀河」という文字は、日本で唯一人、最後の「墨型彫刻師」と言われる中村雅峯氏が墨木型で再現しています。



錦光園

■「東とみプロジェクト」について

奈良市立東登美ヶ丘小学校が、50年後の奈良を考えるプロジェクトとしてスタートしたもので、本プロジェクトを通して、児童は伝統工芸に携わる人々の人生や、想い、技術に触れてその魅力を深く学ぶと共に、伝統工芸が直面している課題を解決するアイデアを考え、実行するという試みです。2022年9月にスタートし、4フェーズ（調べる⇒未来を考える⇒広める方法を考える⇒広める活動）を経て、これまでに全32時間が授業に充てられています。錦光園はオンライン、学校での直接授業を含め6限分の授業、墨の制作などで30時間以上を担当いたしました。その背後で先生側が準備、調整に費やした時間もまた相当な時間数に及んでいることと思います。

<https://kinkoen.jp/info/news/3330/>

■「奈良市立東登美ヶ丘小学校」について

校長 西口美佐子 児童数 645名

奈良市立東登美ヶ丘小学校は、奈良市の北西部に位置し、北は京都府に隣接した新興住宅地域で、今年創立50周年を迎えます。「自ら学び、豊かな心を持ち、よりよい社会を創る児童の育成」を学校教育目標に掲げ教育活動を行っています。今年度は、SDGsを達成する為の持続発展教育（ESD）の推進に重点を置いています。

<http://www.naracity.ed.jp/higashitomigaoka-e/index.cfm/1,html>

■「錦光園（きんこうえん）」について

江戸時より代々150年以上、伝統を守り昔ながらの製法で「奈良墨」を一つ一つ手作りで作り続ける墨工房。現在は六代目墨匠・長野墨延と七代目墨匠・長野睦が、その伝統を守り続けています。墨の魅力と文化を伝えるために出張交通費¹、講師料無料で日本の47都道府県どこへでも伺い、墨の魅力と文化を伝えるワークショップ「すみからすみまで墨のおはなし」を2022年10月よりスタートし、これまで鳥根県、愛知県、東京都など全〇〇都道府県を訪れています。

「すみからすみまで墨のおはなし」に関する詳細は下記へ。

<https://kinkoen.jp/workshop/>

イベントに関するお問い合わせは

奈良市立東登美ヶ丘小学校 e-mail : higashitomigaoka-e@naracity.ed.jp

プレスリリースに関する問合せは 担当 長野睦、林志摩

e-mail : info@kinkoen.jp / shima.hayashi@wabunka-pr-design.com

¹ 会場が最寄り駅から遠方の場合、最寄り駅からの往復送迎だけをお願いします。

奈良墨×東とみプロジェクト
長野さんにプレゼン合戦

企画書を作って、長野さんにプレゼンしよう！！

本番 11月10日の③・④時間目（10時45分～12時15分）

11月11日の②・③時間目（9時35分～11時25分）

場所 体育館 マイクを使って、スクリーンを使って

長野さんにプレゼン合戦！

じゅんぴ期間 10月27日⑤・⑥時間目

11月7日②・③時間目

